

令和 8 年度

第 2 回宇治市農業振興協議会

令和 8 年 8 月 28 日（金）

農業振興施策の取組状況について

宇治市の農業を支える

「5つの柱」の推進

8年度当初 約1.7億円

人を支える

約32,000千円

若者や女性など幅広い方が
就農しやすい環境づくり

〈継続〉働きやすい農業支援事業

- 水洗式トイレ設置助成
- 休憩所兼更衣室の設置助成

ほか

〈継続〉新規就農者確保事業

〈継続〉新規就農者定着促進事業

茶業の継承 発展支援

約32,000千円

宇治茶の伝統、文化を守る取組や
産地賞を獲得するための支援

〈継続〉高品質茶ブランド力強化事業

- お茶摘みさん確保支援
- 宇治種等の新植・改植支援
- 海外輸出支援

〈新規〉宇治茶・観光誘客動画の制作

農地をつなぐ

約20,000千円

農地と担い手を確保し、
地域の農業を未来につなぐ

〈継続〉つながる農地づくり事業

- 農地集積コーディネーター設置
- 農地集積協力金事業

〈拡充〉有害鳥獣捕獲対策

シカ、イノシシ一頭当たりの
捕獲報償金の増額7千円⇒11千円

情報発信

約1,000千円

宇治市内産農産物のPRとして
農業者と消費者をつなぐ情報発信

〈継続〉宇治あぐりPR委員会

市内市外での各種イベントに参加連携
し市内農産物を出展

〈継続〉農業者と飲食店等のマッチング

農業者と飲食店や加工業者とのマッチ
ングを行い、地産地消キャンペーン実施

持続可能

約89,000千円

・チャレンジ

規模拡大に向けた支援策の充実
新たなチャレンジへの支援

〈拡充〉農業生産性等向上支援事業

生産性等向上に資する農業用機械、
被覆材等の設置・修理を支援
(予算R7:1千万円⇒R8:2千万円)

〈継続〉農業用施設等導入チャレンジ事業

- ハウス施設等の整備支援
- 井戸の掘削費用の支援
- スマート農業導入支援

〈継続〉良質米生産奨励支援

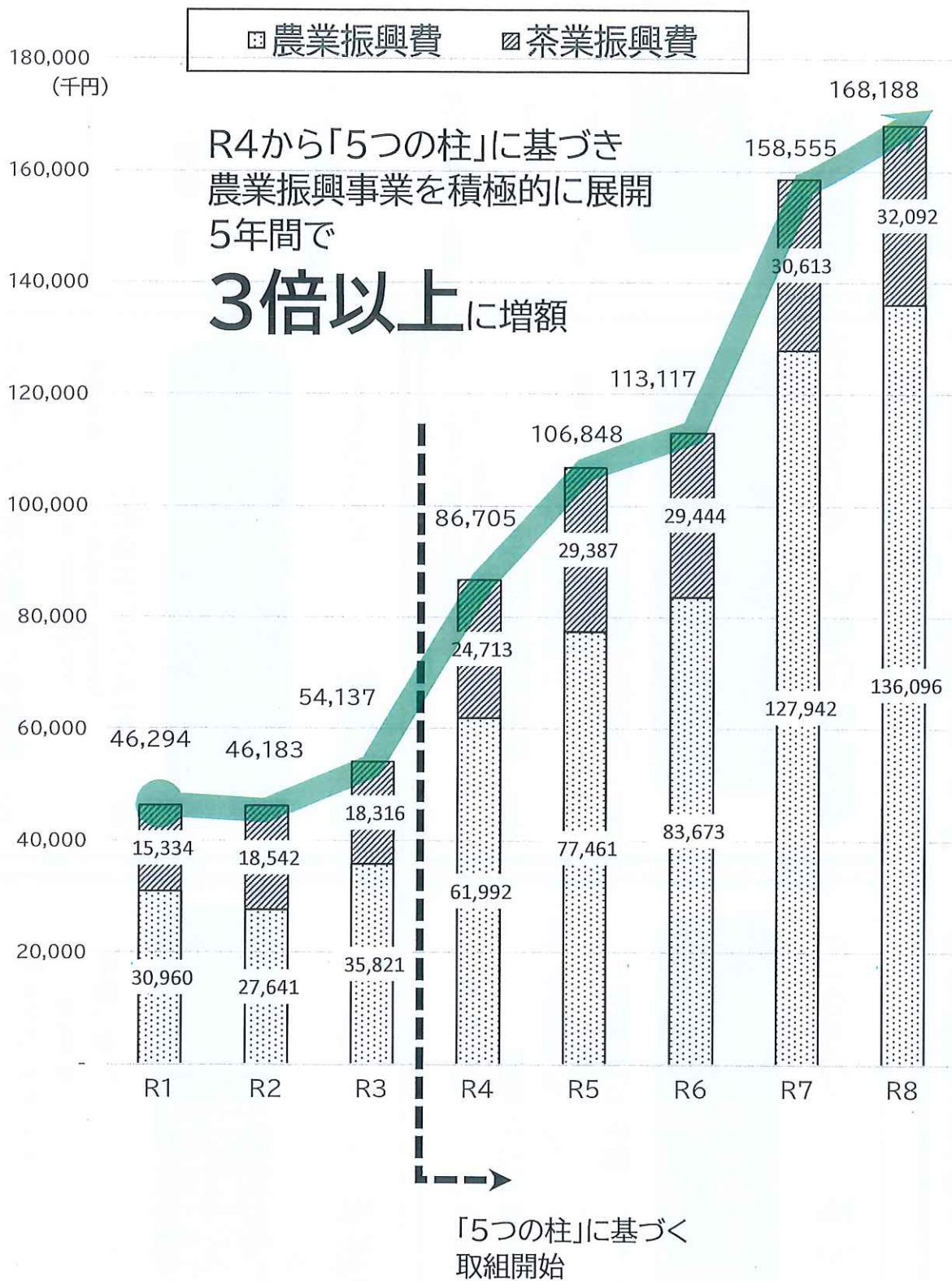
- 良質米奨励金
- ジャンボタニシ対策支援
- 宇治市産米の普及促進・消費喚起

〈継続〉農業経営資金

JAの「農業経営資金」融資の
通常金利から0.25%引き下げ



当初予算における農業振興費と茶業振興費の推移



事業名	新規就農者確保事業
事業概要	次世代を担う農業者となることを志向する就農時49歳以下の者に対し、経営開始時の早期の経営確立を支援する。また経営発展のために必要な機械・施設の導入等の取組を支援する。 ・経営開始資金 交付額12.5万円/月(上限150万円/年)最長3年間 R8から変更 交付額13.75万円/月(上限165万円/年)最長3年間
R7実績	経営開始資金 2件
事業効果	(経営開始資金) 就農直後の経営が不安定な時期における資金面の負担を軽減し、新規就農者の経営確立を支援することができた。
R8 進捗状況	就農状況等の確認を行い、既就農者への支援を継続するとともに、新規就農希望者の相談対応を行っている。 (経営開始資金2名:継続申請中)

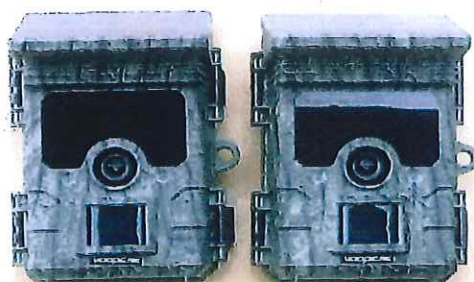


事業名	働きやすい農業支援事業
事業概要	市内農業者の労働力不足の解消及び規模拡大を目的に、従業員の雇用環境整備に取り組む農業者に対して、労働環境の整備にかかる費用の一部を支援する。 (補助率1/2以内 補助上限 100万円)
R7 実績	申請件数 8件 申請の内容: ・簡易トイレ、休憩室の整備 6件 ・防犯カメラの設置 2件(5台)
事業効果	農地における簡易トイレや休憩室の整備、防犯カメラの設置により、農作業者の労働環境改善や農地の安全確保等を図ることができた。
R8 進捗状況	申請件数 3件 申請の内容: ・防犯カメラの設置 1件(2台) ・仮設トイレ、スポットクーラーの整備 2件

休憩室

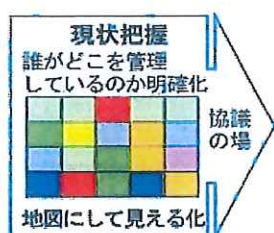


防犯カメラ



事業名	農地中間管理事業
事業概要	農業の生産性を高めて競争力を強化し、担い手への農地集積・集約化を進めるため、京都府農地中間管理機構が農地の中間受け皿となり事業を実施する。市町村は機構からその業務の一部を受託し、市が窓口となって貸し手や借り手との調整を行い、担い手への農地集積・集約化等を行う。
R7 実績	農地中間管理事業利用状況(令和8年3月31日現在) 貸付面積 15.94ha(126筆) 貸付者数 41名 借受者数 20名 ※法改正により、令和7年度から相対による新規の利用権設定が廃止され、原則として農地中間管理事業による貸借に一本化された。
事業効果	農地の貸し手、借り手の調整により、担い手への農地集積・集約化を進め、経営の効率化や耕作放棄地の発生防止につなげることができた。
R8 進捗状況	中間管理事業による利用権の設定・更新、相対利用権からの移行、売買等事業に取り組んでいる。

事業名	地域計画(地域農業経営基盤強化促進計画)																																
事業概要	高齢化や人口減少による農業者の減少や荒廃農地の拡大を防ぐため、将来目指すべき農地利用の姿として地域農業のあり方等をまとめた地域計画の実現に向けて取り組みを進める。																																
R7 実績	協議の場の開催(5地域(※)合同) 11/20(木) ・農地中間管理事業における農地のマッチング方法等について協議した。 ・地域における農業課題を参加者で共有し、意見交換を行った。 地域計画に関するアンケート結果を基に、市外在住の農地所有者60人に対し、農地集積協力金の案内を行うなど、市内担い手への農地集積に努めた。 担い手経営面積（集積面積）の推移 <table><tr><td></td><td colspan="3">(ha)</td></tr><tr><td>地域（※）</td><td>令和7年3月時点</td><td>令和8年7月時点</td><td>増減</td></tr><tr><td>巨椋池地域</td><td>31.3</td><td>35.8</td><td>4.5</td></tr><tr><td>槇島既成田地域</td><td>7.0</td><td>5.6</td><td>▲ 1.4</td></tr><tr><td>宇治川右岸地域</td><td>2.8</td><td>3.6</td><td>0.8</td></tr><tr><td>白川地域</td><td>0.9</td><td>2.2</td><td>1.3</td></tr><tr><td>東笠取地域</td><td>1.1</td><td>1.1</td><td>0.0</td></tr><tr><td>計</td><td>43.2</td><td>48.2</td><td>5.0</td></tr></table> ※表示単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある		(ha)			地域（※）	令和7年3月時点	令和8年7月時点	増減	巨椋池地域	31.3	35.8	4.5	槇島既成田地域	7.0	5.6	▲ 1.4	宇治川右岸地域	2.8	3.6	0.8	白川地域	0.9	2.2	1.3	東笠取地域	1.1	1.1	0.0	計	43.2	48.2	5.0
	(ha)																																
地域（※）	令和7年3月時点	令和8年7月時点	増減																														
巨椋池地域	31.3	35.8	4.5																														
槇島既成田地域	7.0	5.6	▲ 1.4																														
宇治川右岸地域	2.8	3.6	0.8																														
白川地域	0.9	2.2	1.3																														
東笠取地域	1.1	1.1	0.0																														
計	43.2	48.2	5.0																														
事業効果	協議の場を通じて農地のマッチング方法や地域の農業課題について農業者と協議することができた。																																
R8 進捗状況	令和8年度も協議の場を開催し、地域計画の推進及び目標地図の見直しを行う予定である。																																



農地の将来について、所有者へアンケートを行います



アンケート結果を地図に反映した目標地図素案をもとに、地域の将来計画について話し合います



随時見直しを行いながら、よりよい将来設計を構築していきます

事業名	農地集積協力金事業
事業概要	地域計画の推進を図るため、市外土地所有者が市内の担い手に農地を貸付した場合や、作付けされていない農地を市内の担い手に貸付し作付けされた場合に、土地所有者に対して協力金:30,000円/10aを支給し、担い手へ農地の集積・集約を進める。(※5年以上の貸付であること、同一農地につき1回限りなど、要件有り)
R7 実績	交付実績 1件 2,449㎡
事業効果	地域の担い手への貸付を促進し、農地集積・集約化や遊休農地化の防止につなげることができた。
R8 進捗状況	令和8年度も現地調査を実施し、遊休農地につながる可能性の高い農地を中心に農地中間管理事業を通じた貸し付けを促していく。

事業名	巨椋池排水機場 設備更新工事
事業概要	農業用水の安定確保と排水対策は、巨椋池地域の農業生産を支える両輪であり、巨椋池排水機場は、国の基幹的な排水施設である。 平成19年度より、国から宇治市、京都市及び久御山町が管理業務を受託し、2市1町で組織する巨椋池排水機場管理協議会において維持管理を行っている。 同排水機場は整備から約20年が経過しており、老朽化に対応するため、同協議会において令和7年度に作成したストックマネジメント短期シナリオに基づき計画的に更新に取り組んでいる。
R7 実績	ストックマネジメント短期シナリオを作成し、老朽化した設備の状況を整理するとともに、計画的な更新方針を定めた。 また、同管理協議会において、将来の国営事業化や財政支援を求め、京都府、農林水産省(近畿農政局及び本省)を訪問し、政策提案活動を行った。
事業効果	現行設備の通信制御装置が担う、運転支援、遠方監視、データ処理の各機能を更新し、基幹的な排水施設として必要な機能を維持することで、排水機場の安定運転と農地・地域の浸水被害防止を図る。
R8 進捗状況	【工期:令和8年7月15日～令和9年3月19日】 運転支援装置、遠方監視装置、データ処理盤を更新する。 事業全体163,350千円 (宇治市負担分:24,411千円)

事業名	鳥獣捕獲飼養対策費(クマ等緊急銃猟対応)
事業概要	「宇治市緊急銃猟等対応マニュアル」に基づき、日常生活圏でのクマ等(イノシシ含む)出没時の安全確保と被害防止の対応を進める。
R7 実績	市内でクマらしき動物の目撃情報が相次いだため、備品を購入し対応。 ・現地確認や警戒に当たる職員用 : ヘルメット、防護盾、クマ撃退スプレー等 ・市民貸出し用 : センサーカメラ等 約2,000千円
事業効果	実務者の確保と安全対策をあらかじめ整えることで、クマ等出没時の迅速かつ安全な対応を可能とし、市民の生命・身体 of 安全確保と被害の未然防止を図る。
R8 進捗状況	【6月補正1,700千円】 実務者(猟友会)の育成、安全対策物品の購入、緊急銃猟の実施委託に取り組み、マニュアルに基づく対応体制を整備する。

事業名	有害鳥獣捕獲対策(シカ・イノシシ緊急捕獲)
事業概要	シカ・イノシシによる農作物被害を防止するため、緊急捕獲活動に対し、捕獲頭数に応じた報償金を交付して地域の捕獲活動を支援する。
R7 実績	シカ・イノシシを緊急に捕獲した場合に報償金を交付し、猟友会による有害鳥獣の捕獲活動を支援した。 1頭当たり：7,000円 R7実績：シカ・イノシシ 66頭
事業効果	捕獲従事者の活動負担を軽減し、捕獲体制の維持・強化を図ることで、シカ・イノシシによる農作物被害の防止と農業者の営農継続につなげる。
R8 進捗状況	【R8拡充】 シカ・イノシシ1頭当たりの捕獲報償金を7,000円から11,000円に増額(4,000円増)し、継続的な捕獲活動を後押しする。

事業名	環境循環型農業促進事業
事業概要	規格外農産物や生産工程での残渣などを堆肥等に有効活用することで循環型農業を目指す農業者等の取組を支援する。 補助率1/2 補助上限 販売農家:25万円、団体:50万円
R7 実績	なし
事業効果	交付実績はなかったが、循環型農業に対する関心や制度利用上の課題把握ができた。今後も制度の周知を図り、農業者の新たな取組を支援し、安定した農業経営を促進する。
R8 進捗状況	使いやすい制度となるよう、引き続き事業周知を行っていく。

事業名	ジャンボタニシ対策支援事業
事業概要	スクミリングガイ(ジャンボタニシ)による水稻の食害が発生している状況を踏まえ、水稻農家が行う対策への支援として薬剤購入費を補助する。 補助率1/3以内（同一人上限10万円） 農林水産省登録薬剤でジャンボタニシの防除・殺貝を目的としたものに限る。
R7 実績	申請農家： 53件(JAより一括申請)
事業効果	水稻農家を実施する防除対策を支援することで、農家負担の軽減と水稻の食害対策を進めることができた。
R8 進捗状況	引き続き制度周知を実施していく。



事業名	農業用施設等導入チャレンジ事業 (園芸作物用施設整備事業)
事業概要	市内での農業用施設の新規設置経費や、JA事業によるパイプハウスのリース利用経費を補助し、農業者の新たなチャレンジ、営農活動を支援する。 新規設置(国・京都府補助の上乗せ) 市補助率は対象経費の1/4以内 かつ国・府補助額の1/2以内(合計3/4以内) 補助上限額300万円 リース利用 補助率1/2 補助上限額4万円/1a
R7 実績	リース利用経費補助4件 12棟 31.464a
事業効果	若手農家等の初期投資の負担を軽減し、安定した農業経営を支援することができた。
R8 進捗状況	新規設置(国・府事業)についても積極的に周知を図っていくとともに、市独自のリース利用経費の支援についても継続して行っていく。

リース利用しているパイプハウスの写真



事業名	農業用施設等導入チャレンジ事業 (新規水源確保支援)
事業概要	井戸の掘削費用等、新規水源確保の整備にかかる経費を補助し、高収益作物への転換等を支援する。 補助率1/2以内 補助上限額50万円
R7 実績	なし
事業効果	R7年度の交付実績はなかったものの、高収益作物への転換や園芸作物の安定生産に必要な制度であるため、引き続き、周知する必要がある。
R8 進捗状況	農業者からの相談に応じながら、引き続き、事業周知を行っていく。

過年度の井戸設置の様子



事業名	スマート農業等導入チャレンジ事業
事業概要	ICT技術を活用した省力化や品質向上・増収効果が期待できるスマート農業の取組や新しい技術等の導入など、農業者の新たなチャレンジを積極的に支援する。 ○補助率・補助上限額 ①国・府制度加算型(国や京都府の支援制度を活用する場合) 補助割合:国・府の補助額の1/2以内 (国・府の補助額含む補助総額が 対象経費の3/4以内であること) 補助上限額:200万円 ②市単独型(他の支援制度の活用がない場合) 補助割合:対象経費の2分の1以内 補助上限額:50万円 ※リースの場合は上限20万円(R6年度から)
R7 実績	申請件数:6件 (市単独型5件・国・府制度加算型1件) 申請の内容: - 食味・収量センサー付きコンバイン - 一輪車電動化キット - 充電式運搬車(電動昇降タイプ) - GNSSを活用した管理機能付き田植機 ※GNSS…GPSやみちびきなどの人工衛星を利用した位置情報測位システム - フィールドカメラ及び露地ファームアンテナ ※露地ファーム…圃場の気温、照度、土壌状態を測定できる機器 - 自動操舵システム
事業効果	ICT技術の導入を推進することで農作業の省力化、効率化、品質向上に向けた取組を支援することができた。
R8 進捗状況	申請件数:4件 (市単独型3件・国・府制度加算型1件) 申請の内容: - 農業用ドローン - 自動操舵システム - 自動灌水設備

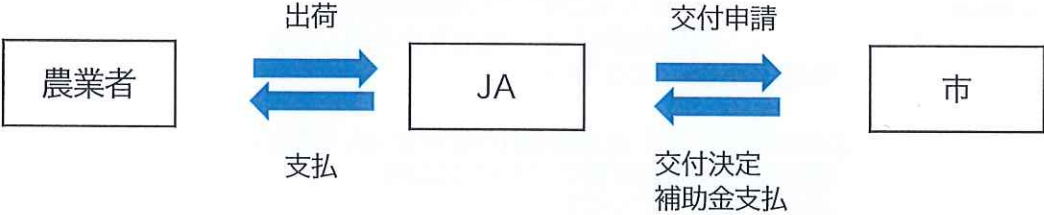
R7導入例

食味・収量センサー付きコンバイン



自動操舵システム



事業名	良質米生産強化支援事業
事業概要	「やましろ産米が食味ランキングで特Aランク獲得」がJA京都やましろ第3次農業チャレンジプランでも掲げられていることから、特別栽培米やこだわり米などの良質米の生産強化のための取組を実施する市内農業者を支援する。 市内のJAに出荷する米1袋(30kg)あたり500円補助 支援の仕組み:  <pre> graph LR A[農業者] -- 出荷 --> B[JA] B -- 支払 --> A B -- 交付申請 --> C[市] C -- 交付決定 補助金支払 --> B </pre>
R7 実績	対象農家 35戸(JAより一括申請) 特裁米118袋、こだわり米4,662袋、計4,780袋
事業効果	特別栽培米、こだわり米の生産に取り組む農業者を支援することで、良質米の生産を推進した。
R8 進捗状況	令和8年産米について、気候変動や国・京都府の動向も注視しながら、農業者の良質米の生産を支援するため、JA京都やましろと申請に向けた調整・準備を進めている。

稲穂の写真



事業名	農業生産性等向上支援事業
事業概要	生産コスト上昇分の農産物への価格転嫁が難しい仕組みの中、物価高騰対策として、生産性の向上、効率化、省エネ化等を目的とした資材・機器の導入に要する経費に対して支援する。 対象経費の1/2以内 補助上限20万円
R7 実績	申請件数:68件 申請の内容: 充電式運搬車の導入 流動性が高いビニールへの張り替え 蒸気催芽器の導入 育苗洗浄機の導入 等
事業効果	生産性の向上、効率化、省エネ化等を目的とした資材・機器の導入に対して支援し、農業経営の改善につなげた。
R8 進捗状況	申請件数:28件 申請の内容: 動力散布機 精米機 充電式運搬車 高反射育苗用シート 等

R7の導入例
育苗洗浄機



R8の導入例
動力散布機



事業名	農業者低利融資事業
事業概要	JA京都やましろと連携し、市内に住所を有する農業者(法人にあっては、本・支店所在地)を対象に、農業者が事業資金の融資を受ける際、低利での融資が可能となるような仕組みを構築し、市内農業者の経営の安定と健全な発展を図る。
R7 実績	農業経営資金 19件 1億4,433万円 新規就農応援資金 1件 450万円
事業効果	宇治市内に住所(法人にあっては、本・支店所在地)を有する農業者がJA京都やましろにて、農業経営資金及び新規就農応援資金を利用する際に通常貸付利率より年0.25ポイント低い利率で融資をすることで、農業者の資金調達に係る負担軽減と経営安定を支援することができた。
R8 進捗状況	農業経営資金 13件 上記以外にも相談中案件あり

R8事業チラシ(JAより提供)

農業者の皆様、
農業を営む法人および任意団体の皆様へ

農業経営資金

ご利用ください!

JA京都やましろはおトクな金利で農業を応援!

標準金利(年1.50%)
↓
最大年1%、
最長10年間の利子補給で 年 **0.50%**
↓
宇治市在住の農業者なら
さらに上記金利より**0.25%減額!!**
新規就農応援資金も適用できます!!

貸付金利 年 0.25%

★融資が盛に適用するお借入が可能です。
※お借入の用途は、お借入の目的に応じてお借入の上限額が異なります。
※お借入の利率は、お借入の目的に応じてお借入の上限額が異なります。
※お借入の利率は、お借入の目的に応じてお借入の上限額が異なります。
※お借入の利率は、お借入の目的に応じてお借入の上限額が異なります。

※期間 / 2024年4月1日(水)～2026年9月30日(水)止
[宇治市農業者(任意)団体の貸付利率は2026年9月30日(水)まで適用されます]

JA京都やましろ

事業名	高品質茶ブランド力強化事業
事業概要	市内の茶生産者団体等が品質向上又は生産性向上、ブランド力強化のために行う事業に要する経費に対して支援する。 ①優良茶園振興事業 ②高品質茶推進事業 ③宇治茶海外輸出支援事業
R7 実績	①優良茶園振興事業 改植、新植(5a未満)、茶園拡大(5a以上)の事業を実施した場合、補助率1/2。 京都府奨励品種のうち宇治種および市が指定するその他の品種(きらり31、さえみどり)の場合、補助率3/4。 申請件数:6件(改植) ②高品質茶推進事業 手摘み茶推進対策 標準事業費300万円。 申請件数:29件(看板・のぼり等) ③宇治茶海外輸出支援事業 申請なし
事業効果	①市場価値の高い宇治種および品評会上位種への新改植を促進することで、生産者の収益性の向上および優良品種への新改植を支援し、市内産宇治茶の品質向上と生産基盤の維持を図った。 ②お茶摘みさんの人材確保は喫緊の課題であり、宇治市茶生産組合がお茶摘みさん募集の広報をさらに強化することで、お茶摘みさんの人材確保に繋がった。
R8 進捗状況	①優良茶園振興事業 申請件数:12件(改植11件、茶園拡大1件) ②高品質茶推進事業 手摘み茶推進対策 申請件数:30件

手摘みの様子



覆下茶園



事業名	市民茶摘みのつどい
事業概要	市民の方に茶摘みを体験してもらうことにより、歴史と伝統のある宇治茶をより身近に感じてもらい、親しみをもっといただくことを目的に開催する。
R7 実績	開催日:令和7年5月11日(日) 場 所:茶業センター茶園 参加者数:200名
事業効果	市内外から参加した200名の幅広い世代の方々に、実際に茶摘みを体験してもらうことにより、宇治茶への親しみと理解を深める機会をつくることができた。
R8 進捗状況	開催日:令和8年5月10日(日) 場 所:茶業センター茶園 参加者数:200名

令和8年度の様子



事業名	茶業振興と宇治茶の魅力発信
事業概要	宇治茶のブランド力強化に向けて、茶業の振興や宇治茶の魅力発信等の取組を積極的に展開する。
R7 実績	①宇治茶ブランド強化推進プロジェクトチーム 令和5年度に設立した宇治茶ブランド強化推進プロジェクトチームにて各課と連携して宇治茶の振興について検討 ②全国・関西茶品評会における産地賞受賞の関連事業 ・全国茶品評会の産地賞受賞決定の当日に産地賞受賞セレモニーを開催 ・市長がおもてなし役となり、「産地の誉祝賀茶会」を初めて開催 ③お茶摘みさんへの感謝状贈呈 お茶摘みに30年以上従事し、現役の方を対象に市政功労者表彰式にて感謝状を贈呈 ④未来へつなぐ伝統手摘み応援事業 茶園ツアーと茶業研究所の茶園で手摘みの実地体験を実施。3日間で38名参加 ⑤お茶摘みバンクを運営し、茶農家紹介シートを作成。 登録者通算97人 うちマッチング成立通算18人
事業効果	①農林茶業課のみならず各課と連携して市内産宇治茶の魅力発信を進めることができた。 ②産地賞受賞記念セレモニー実施など、市職員に対しても市内産宇治茶への意識向上を図ることができた。 ③④⑤組織横断的に情報共有を図ることで、お茶摘みさんの人材確保のための新たな道筋を作ることができた。
R8 進捗状況	・5月15日に新規採用職員を対象とした茶摘み研修を実施 ・宇治茶・観光誘客動画を製作中 ・お茶摘みバンク登録状況(R8.8.18時点) 登録者通算163人(うちマッチング成立通算33人)

新規採用職員茶摘み研修



産地の誉・祝賀茶会



卓上のぼり



のぼり・横断幕(祝賀会)



産地賞受賞記念セミナー



感謝状贈呈



事業名	関西茶業振興大会京都府大会
事業概要	関西地区で生産される茶の特徴を明らかにし、生産技術や品質向上を図るとともに、茶の国内需要の増進、関西茶業の振興、並びに日本茶業の発展に寄与することを目的として毎年開催される。令和7年度の第77回関西茶業振興大会京都府大会は宇治市にて開催。
R7 実績	◎出品茶審査会 令和7年8月6日(水)～8月8日(金) てん茶の部で産地賞を受賞(通算19回目) ◎褒賞授与式及び消費拡大イベント 令和7年11月15日(土)
事業効果	審査会、消費拡大イベントを通じて、関西茶業の振興に加え、市内産宇治茶の魅力発信を進めることができた。
R8 進捗状況	令和8年度は三重県にて開催



事業名	大阪・関西万博への出展
事業概要	令和7年度に開催される大阪・関西万博の関西パビリオン 京都ブースへ出展し、市内産の抹茶及び玉露の呈茶を実施することで、国内外へ市内産宇治茶の魅力をPRする。
R7 実績	8/18(月)、8/19(火)の2日間、宇治市茶生産組合のご協力のもとで出展 ・抹茶実演 計99杯 ・玉露実演 計64杯 ・抹茶、玉露振る舞い 計2,200杯
事業効果	万博来場者に向け、市内産の抹茶および玉露の呈茶実演および振る舞いを行うことで、市内産宇治茶の魅力を国内外の来場者に発信できた。
R8 進捗状況	大阪・関西万博は、令和7年10月13日閉幕

関西パビリオン 京都ブース



事業名	京都フードテック構想連携促進事業
事業概要	京都の食文化や高い栽培技術と最先端技術を融合した京都ならではのフードテックの取組を通じて、農林水産業を含む食関連産業の課題を解決し、成長産業化を図ることを目指す「京都フードテック基本構想」の内容と連携した取組を行う。
R7 実績	・京都フードテック基本構想にかかる市内農業者・京都府との意見交換会 開催 8月25日(月) ・京都フードテックエキスポ2025視察 ・「農園見学・生産者交流会」の開催 2月25日
事業効果	意見交換会や視察、農園見学会を通じて、市内生産者へ向けて、加工食品開発等への足掛かりとなる取組ができた。
R8 進捗状況	・京都フードテックエキスポ2026視察予定 ・「農園見学・生産者交流会」の開催予定

農園見学会



事業名	農業情報発信事業(地産地消の推進など)
事業概要	・地元農産物をPRし消費拡大を図るため、京都府と共催でJR宇治駅で直売会「山城マルシェ」を開催する。 ・UJIアグリメールや市政だよりの特集などで農業情報を発信する。
R7 実績	・山城マルシェ(京都府共催) 7回 ・UJIアグリメール 22回
事業効果	山城マルシェやアグリメールを通じて、地産地消の推進、市内産農産物のPRを図ることができた。
R8 進捗状況	・山城マルシェ 7回予定 ・UJIアグリメール 20回程度予定

山城マルシェ



事業名	宇治あぐりPR委員会			
事業概要	各生産組合や農林業関係団体・機関が、特産品の販売や各種の企画等を通じて、各種イベント来場者に農林業に対しての親しみを持っていただく機会を創出するとともに、市内産の農産物品等の販売促進を図る。 自らのイベントで人を集めるのではなく、人が集まるイベントや場所での実施。			
R7 実績	実施日		出展イベント名	出展団体数
	4月5日	土	南部市場春の一般開放	1
	4月26日	土	緑のウォークラリー	1
	5月1日	木	八十八夜茶摘みの集い	1
	5月10日	土	農業体験（稲作）	2
	8月3日	日	エンジョイフェスタ	1
	10月13日	月・祝	アクトバル宇治 秋まつり	1
	10月15日	水	きょうとまるごとお茶の博覧会	1
	10月25日	土	植物園ウォークラリー	1
	11月9日	日	南部市場	1
	11月15日	土	関西茶業振興大会京都府大会	2
	11月23日	日・祝	西宇治にぎわい農林フェスタ	2
	12月6日	土	JAまつり	3
	12月14日	日	うーちゃフェスタ	1
	12月20日	土	クリスマススワッグづくり	1
	1月11日	日	新春笠取り市	1
	1月12日	月・祝	新春笠取り市	1
3月7日	土	バレーボール大会中宇治支店杯	3	
3月29日	日	京印 市場開き	1	
	R7年度から新たにあぐりPR委員会主催事業として農業体験を開催(2回)			
事業効果	様々なイベントへの出店や農業体験を通じて、市内の農林業への親しみと理解を深めることができた。			
R8 進捗状況	引き続き様々なイベントに出展予定。			

農業体験(稲作組合)



クリスマススワッグ作り(花き生産組合)



事業名	農業情報発信事業(販路開拓)
事業概要	①農業者×事業者マッチング商談会：飲食業等、市内農産物の新たな直売販路となる業者と、市内農業者の対面方式による商談会の開催を通じて農業者を支援する。 ②市内で生産された農産物について、消費者や実需者にわかりやすく明示し、他地域産との差別化を図るため宇治市産農産物を明示するシールを作製・配布する。
R7 実績	①7月22日開催 農業者7名、事業者8名が参加 マッチング実績:3件 ②宇治市産農産物シールを希望のあった市内農家等は無償配布 R7配布実績:70,000枚(農家5件、白菜・キャベツなど)
事業効果	商談会や市産農産物シールの配付により、生産者と実需者の新たな販路開拓と市内農産物のPRを図ることができた。商談成立とはならない場合でも対面により貴重な意見交換が行えたとの感想もいただいた。
R8 進捗状況	①9月15日開催 予定 ②順次、市内農家等に配布中(R8配布実績:7,000枚)

商談会の風景(R7.7.22)



宇治市産農産物シール



事業名	農業情報発信事業(補助制度の周知)
事業概要	農業関連の補助事業をまとめた「宇治市農業関連補助事業しおり」を作成し、農業者に向けて補助事業の周知を行う。また、補助事業の内容について、説明会等を開催するとともに、イベント開催時や訪問時に個別説明を行う。その際、今後に向けた意見・要望の聞き取りも行う。
R7 実績	① 「令和7年度 宇治市農業関連補助事業しおり」の作成・配架 ⇒しおりを作成し、農林茶業課、宇治市内のJA京都やましろ3支店に配架及び市ホームページに掲載 ② 説明会の開催(JA中宇治支店にて) ⇒補助事業の具体的内容について、説明会を開催 令和7年4月16日 参加者：10名 ③ 個別説明の実施 ⇒イベント開催時や訪問時に、補助事業の具体的内容について、個別に説明を実施 ⇒説明会等では補助事業の説明に加え、農業者の方々の意見・要望も聞き取った。
事業効果	・補助事業しおりの作成や説明会等を通じて、農業者への制度周知と申請促進につながった ◎環境循環型農業促進事業 ：生産工程で生じる廃棄物等の活用等に向けた実験的栽培等へ支援 ◎農業生産性等向上支援事業 ：生産性の向上、効率化等を図る機器等の導入へ支援 など ・農業者の意見・要望を令和8年度補助事業に活かすことができた ◎農業生産性等向上支援事業(予算増額にて継続実施) ◎宇治茶・観光誘客動画制作
R8 進捗状況	・より広く補助事業を知ってもらうため、HPで「令和8年度宇治市農業関連補助事業しおり」を公開 ・農業者の方々に補助事業を広く利用してもらうため、年度当初の説明会ではなく、JA中宇治支店や各位地域にて不定期で個別に説明・相談会を実施予定

事業名	森林経営管理運営費
事業概要	国の森林環境譲与税を活用し、手入れが十分に行われていない人工林については市が仲介役となり、林業経営が可能な森林は、林業事業体に管理を任せ、採算が取れない森林については市が管理を行う。
R7 実績	西笠取の2林班(52・53林班)について、森林所有者の意向を踏まえた集積計画を作成した。 また、林業経営が可能な炭山の2林班(18・19林班)については、林業事業体による森林整備の取組につなげた。
事業効果	森林の管理方針を明確にし、林業経営の効率化と森林の健全な維持・管理を一体的に進めることで、森林機能の維持・回復と土砂災害等の予防につなげる。
R8 進捗状況	【当初予算約24,000千円／森林環境譲与税活用】 西笠取の52・53林班…市による森林整備(管理) 約7,000千円 西笠取の50林班ほか…意向調査、現地調査、集積計画作成 約17,000千円